

農業委員会だより



農民画家ミレーが描いた『晩鐘』をモチーフにした花畑の中の案山子(丹後町此代)

1日の仕事の終わりを告げる晩鐘の音に農民夫婦が手を休め、神と祖先に感謝の祈りをささげている絵画『晩鐘』をイメージした男女の案山子2体(写真左)とそれを見守るように座る製作者の女性を現した案山子(写真右)。

● 目 次 ●

2~3P **農を語る** 大江 陽介さん（網野町島津）

4~5P **活動紹介** 中山市長に意見書を提出しました。
京都府立農業大学校 学生募集

6P **お知らせ** 農業者年金制度が改正
全農地利用状況調査を実施
農作業のあと道路に泥を落とさないようにしましょう。

7P **ぼいす 一声** 服部 英樹 委員

8P **郷土料理** 丹後の秋の味覚（新米で握ったおにぎり）



【取材の様子】

うこと。やはり自分で考えるだけではいろいろ考えが浅いこともあるので。
「機械・設備はどんなものがありますか。」
 まだあまり活用出来ていないがメロンの非破壊糖度計。通常は果汁で測るので切らなければならぬがこれは切らずに甘さを測る事が出来るので出荷する全ての糖度を測る事ができる。
 メロン部会ではより高価な機械を導入しているが自宅で測りたいので購入した。部会の機械や破壊式の糖度計との誤差があるので使用してはなかったが、他に比べて甘くないものはきちんと低い糖度になるので、甘くないメロンがお客様に渡らないように活用していきたい。
 まだ完成はしていないけど電子

工作が好きなのでハウス管理が自動化出来るように自分でプログラミングしていきたい。
「仕事をする中で困っている事はありますか。」
 人員確保です。ハウス内の作業は体力がいるので雇用もしているがほぼ父と2人での作業です。経営規模を大きくすると雇用に頼ることになり自分が現場に出れなくなり、作物の状態把握がしにくくなるので、お客さんとの話ができにくくなると思うので規模は現状が良い。
 自分が何でも1人でやってしまおうとする癖があること。いくら効率化しても1人では持たないのでなるべく人に任せたい方がよいと思っているのだが、つい1人ですらどうやら出来たのかと考えてしまい失敗することもある。家族や近所の方々には今でもかなりお世話になっていますが、これからもよろしく願います。
「どんな時に幸せを感じますか。」
 考える事が好きでより良いもの、美味しいものを全身全霊込めてつくっているの、お客さんが嬉しそうに美味しかったと言ってくれた時また頑張ろうと思える。自分がいろいろ考えている事が1つに繋がって、なるほどそうかと思えた時は快感です。ただやっぱり間違っていた事も多い。そして何よりも、きつい仕事の後のビールは格別です。

「将来の目標」
 補助金に頼らない経営をすること。災害時などはたよらなければならぬ場合もあるが補助金ありきの経営にならないようにしたい。作った物が安売り合戦になるときついのでリピートで買ってくれるお客さんを増やしたい。その為にどうやったら美味しく、食べやすく、安全できれいな物が出来、それをお客さんに伝えられるか試行錯誤しつつ追及して行きたい。
 自分が出来る範囲で食べていけるようにすること。両親も年を取ってくるのでいろいろな人に協力をお願いし、効率化をしながらやっていきたい。
「リラックス」
 趣味を大切にしたい。楽器が好きなので、いろいろ行き詰った時、疲れている時、下手くそなりに思いきり演奏すると気晴らしになる。
 のめり込みやすいたちなので仕事に影響が出ないように注意しつつだが。
「後記」
 自分でできっちり管理できる範囲でより良いものを作っていくこだわりと、電子工作でシステムを作るチャレンジ精神、明るく未来をみて仕事をする姿、京都府青年農業士としても活躍されている大江さんに期待しています。頑張ってください。
 取材／瀬戸牧男委員



農を語る

おおえ 陽介さん
(36歳)

農業の無限さにはまる（1年として同じ作り方は出来ない、環境は毎年変わる）
 栽培面積 メロン・トマト（30a）
 花（トルコギキョウ5a）
 蔬菜採種（35a）全てビニールハウス
「就農したきっかけはどんな事ですか。」
 農業は父が42歳で脱サラをして始まった。国営農地で西瓜を作っていました。手伝いもしたけど当時私は小学校5年生でしんどそうだったから自分はやらないと思っていた。きっかけは大学を卒業し、東日本大震災の年で就職しないで帰ってきた。最初はトルコギキョウからのスタートでした。当時ユリを栽培していましたが輸入球根の品質のバラつきがあり不安定でもあった為、自分で種まきから管理できるトルコギキョウに取り組みました。ここで品種数の多さや綺麗さにはまって行きました。（おもしろかった）
「仕事をする中で工夫している事を教えてください。」

農業は父が42歳で脱サラをして始まった。国営農地で西瓜を作っていました。手伝いもしたけど当時私は小学校5年生でしんどそうだったから自分はやらないと思っていた。きっかけは大学を卒業し、東日本大震災の年で就職しないで帰ってきた。最初はトルコギキョウからのスタートでした。当時ユリを栽培していましたが輸入球根の品質のバラつきがあり不安定でもあった為、自分で種まきから管理できるトルコギキョウに取り組みました。ここで品種数の多さや綺麗さにはまって行きました。（おもしろかった）
「仕事をする中で工夫している事を教えてください。」



大江さんが栽培したトルコギキョウ

全てに関して工夫しています。最小の手順で最高の効果をだす。土を大事にすること、青枯れ病や壞疽斑点病が蔓延すると土での栽培が出来なくなるので灌水は控えめにしている（このことは果実の糖度上昇にも必要）。ハウスのビニールは冬期間に外し残留肥料を無くしている。
 販売面ではいろいろな理由で突然売れなくなる場合が考えられるのでリスク分散の為品目を1つに絞らない事、色々な品目を作りすぎると全てがいい加減になりかねないので現状位がちょうど良いと思っている。同じ理由で販売先も大手1つに絞らないようにしている。
 本やSNSを見ること、最近あまり出来ていないがいろんな人に話を聞いたり圃場をみせてもら

全国農業新聞を購読してみませんか？



全国農業新聞は公的機関である農業委員会系統組織が発行する週刊の農業総合専門紙です。「週刊」ということから日々の報道には限界がありますが、むしろ週刊の時間を活かし、大切な情報をわかりやすくまとめています。

また、多くの読者の皆様に満足して頂けるよう、家族全員が楽しめる記事も充実しています。さらに、全国47都道府県にある支局の充実により、地域の元気で特徴ある面白い話題や地域独自のイベント情報などの提供に努めています。

購読の申込みは京丹後市農業委員会へお気軽に連絡ください。
 週刊 金曜日発行 月700円、年8,400円（消費税込み）

グローバル化の進展において発生した新型コロナウイルス感染症拡大による農業への影響は計り知れないことから農産物価格低下や食料消費の変化を早急に把握し、人の交流が戻り農業者が安心して経営を継続できるように環境を整えること。

3. 新型コロナウイルス感染症の影響による農業環境

本市の農地は典型的な中山間地域の脆弱な生産基盤であり、水田においては昭和初期の土地改良事業で開発された小区画で排水路も未整備のものも多く作業効率の低下や生産コストの増大となっていることから、ほ場整備等の土地改良事業の導入や小規模のまち直し等、小規模基盤整備事業にも積極的に取り組み、生産環境を整えること。

2. 農業生産基盤の環境

農業予算や施策に反映していただくよう意見書を提出しました。

農業委員会は、令和3年10月22日、中山市長に「農地等の利用の最適化の推進に関する施策についての意見書」を提出しました。意見書は、京丹後市の農業の健全な発展と農業者並びに市民全ての幸福実現に寄与することを目的として、**農業を取り巻く厳しい環境**を伝え、その解決に向けて、特段の措置を講じていただくよう提出しています。



中山市長よろしく願います！

1. 集落農業の環境

農家の高齢化や農家数の減少による担い手不足により、農地などの経営資源や農業技術が適切に継承されずに荒廃農地の増加や農会等の組織存続までも困難な状況となつて来ている。

農業・農地の持つ多面的機能は、食料の安定供給、国土保全、水資源の涵養、大気浄化、温暖化抑制などの環境保全や景観形成、生物多様性の保全、社会的・文化的価値の継承など自然環境はもちろんな社会的環境にも大きく寄与しており、多面的機能が維持できないと地域住民の生活環境の悪化が懸念されることから次世代を担う意欲ある担い手が将来にわたり活躍できるような環境を早期に整えること。



4. 京丹後市産農産物の評価・流通にける環境

魅力ある本市の農産物を国内外へ発信して認知度を高めるとともに、地域商社支援事業など新たな流通体制の強化や販路開拓は運営組織が計画性を持つて進めること。

また、観光等との連携強化を積極的に推し進め、ブランド力の向上を図り、本市の農産物が売れる環境づくりを農家とともに整えること。

- (1) 学校給食など食育と連携した利用促進や直売所整備による販路拡大を行うこと。
- (2) 政策企画課や商工観光部と連携し、本市の農産物を活用したふるさと納税返礼品の拡充を図るとともに積極的なPRや情報提供を行うこと。

5. 実施体制（職場環境）

業務が多様化・複雑化しているにもかかわらず、職員数は不足しており、時間外勤務は減少傾向にあるものの職場環境の改善を継続して行うこと。

- (1) 職員を増員し体制強化を図るとともに、JA等農業関係機関と連携して農業施策を推進すること。また、実行力を高めるため、市内関係者を含めた単独部署の設置を図ること。
- (2) ほ場整備事業の拡大に向け、専門性の高い技術職員の確保及び人材育成の実施を図り、早期着工、早期完了ができる環境を整えること。



令和4年度 京都府立農業大学校 学生募集

農業の担い手となる人材を養成するため、収益性の高い京野菜や宇治茶の生産と経営を学び、農業に従事する意欲のある学生を募集しています。

募集人員 20人程度（推薦入学を含む）

学業期間 2年間（全寮制）

出願資格 学校教育法に規定する高等学校若しくは中等教育学校の卒業者（令和4年3月卒業見込み）又は同等の学力がある者で令和4年4月1日時点で40歳未満の者

願書受付期間及び試験日程

一般入学試験（前期）：受付期間	令和3年11月29日(月)～12月13日(月)
試験日	令和4年1月11日(火)
一般入学試験（後期）：受付期間	令和4年1月21日(金)～2月2日(水)
試験日	令和4年2月18日(金)

※推薦入学試験につきましては、終了しています

詳しくは下記にお問い合わせください。

【問】京都府立農業大学校（綾部市位田町松前30）Tel 0773-48-0321

(1) 京力農場プランの実質化

農地の持つ多面的機能の重要性を鑑み、地域の実情に寄り添いながら、本市が進める小規模多機能自治推進や多面的機能支払交付金事業と連携して策定されるよう、継続的な組織及び推進体制を図ること。

(2) 担い手への農地の集積・集約化

京力農場プランの実質化と併せて農地中間管理事業の活用促進を図り、農地の集積・集約化を図ること。

(3) 担い手支援

認定農業者や認定新規就農者はもちろん、中核的担い手等に対する農業用機械更新時の支援を図ること。

(4) 新規就農支援・集落営農と法人化の推進

持続的農業の発展のため、集落営農の組織化と法人化の推進及び設立後にも支援を行うこと。また、並

(5) 野生鳥獣被害対策の推進

防護柵等設置事業の計画の実施による地元負担の軽減と、捕獲個体の埋設処理支援事業の拡充及び捕獲個体処理施設の継続検討を図ること。

森林環境譲与税基金を活用して山際の環境整備を行ない、バッファゾーンの確保を図ること。

(6) 市道及び準用河川の草刈りの支援

市道及び準用河川は市が維持管理を行うものであるが、農地に隣接している部分については、農業者がボランティアで草刈り等の管理を行っていることに対し、何らかの支援を検討すること。



私は現在50才です。2年前より農業委員をさせていただいていますが、農業を生業にするようになって10年が経ち、農業を始めるまでは農協で金融と保険に12年、その後金属加工を6年勤務と、それぞれ農業とは全く関係の無い仕事をしていました。本格的に農業に従事し始めた当初はコシヒカリを約3町と小菊を1反作付けしていましたが、現在はコシヒカリを中心に夢ごこち、あきだわら、新羽二重糯、ミルキークイーンと5種類の水稻を合計13町5反、白ねぎと葉葱を約1反作付けしています。



本格的に農業に従事してから短い期間ではありますが、就農当時と比べて現在では私の住んでいる地区周辺は農地の宅地・商業地化が進んでおり、農地の面積が年々減少して来ている中で、私が農作業をしていると珍しそくに眺めている方もおられ、なにかと気が抜けないことが多々あります。また住宅、店舗等のすぐ横が田畑であるといった、とても接近した状態の農地が多くあるため、近隣の方に迷惑を掛けないよう、以前より更に注意して農作業を行わなければならない状況です。そのなかで農業機械等の音、土、塵、更に農業の飛散等、他にも農業者が気にならないことでも近隣の方は気になることがあると思います。農業委員として活動する中でこの様なことが問題にならないよう農地の転



農業委員
服部 英樹 (50歳)
(担当地区／峰山町新町・荒山・内記・丹波・矢田・橋本・石丸・赤坂)

用、形状変更等各種申請について色々な方に意見を伺い周辺環境・状況に合った判断が出来ればと活動しています。

また、丹後の米作りについて教えて下さいということとで農業振興課の方に協力してもらい今年の7月にしんざん小学校へ先生として教壇に立つて来ました。子供達の質問に回答しながら、農業について話をすると興味深げに聴き入ってくれ、結局予定していた時間を大幅に過ぎて先生にはご迷惑を掛けてしまいました。

でも、子供達が少しでも農業に興味を持ってくれたかなと、丹後の農業の未来に期待したいです。

予告 農業委員会委員の募集について

令和元年7月1日から二期目をスタートした農業委員及び農地利用最適化推進委員(以下「推進委員」)の任期(3年)が令和4年6月30日を以って満了します。これに伴い、令和4年4月に農業委員と推進委員の募集を行う予定としております。応募については、自薦または他薦により行いますが、応募の詳細については3月末頃発行の農業委員会だよりやホームページでお知らせします。

問 農業委員会事務局 ☎69-0040

重要なお知らせ

農業者年金制度が改正されます

平成14年1月から始まった新たな年金事業(新制度)のみが対象です

農業者年金とは、国民年金に上乘せすることで、将来受け取ることができる年金額を増やすことを目的につくられた、国が運用する公的な年金です。

ポイント
1

令和4年1月から

若い農業者が加入しやすいよう保険料が引き下げられます。

(35歳未満の方は、月額1万円から加入できます)

ポイント
2

令和4年4月から

農業者年金の受給開始時期の選択肢が広がります。

(年金の受給開始時期を、ご自身で選択できます)

農業者老齢年金 65歳以上 75歳未満

特例付加年金 65歳以上(年齢上限なし)



ポイント
3

令和4年5月から

農業者年金の加入可能年齢が引き上げられます。

(60歳以上 65歳未満の方も加入できます)

お願い

全農地利用状況調査を実施しました!!

今年も農業委員会では農地法に基づき、①農地利用の確認、②遊休農地の実態把握と発生防止・解消、③違反転用の発生防止・早期発見を目的に、農地利用最適化推進委員(33名)と農業委員(19名)が担当区域ごとに市内の全農地の利用状況調査を行いました。

この調査により、遊休農地として判断した農地については、農地利用最適化推進委員が所有者または利用権設定者に直接訪問して、今後の農地利用の意向を伺いますので協力をお願いします。

なお、今後につきましても、調査等、必要に応じて農地等に立ち入ることがありますが、皆さま方のご理解、ご協力をお願いします。



お願い

農作業のあと道路に泥を落とさないようにしましょう。

田んぼや畑での農作業中、トラクターなどの農業機械を使用した後に道路へ出る際には、機械についた泥などを落としてから走行するようお願いいたします。車道や歩道に落ちた土や泥のかたまりは、自動車だけではなく、歩行者、オートバイ、自転車、車いすなどの通行の妨げになり、滑りやすく交通事故の原因にもなり、大変危険です。

農作業の状況や、ほ場への移動行程などにより、除去や清掃がすぐにはできない場合もあるかと思いますが、やむを得ず道路に土や泥を落としてしまった場合には、スコップ等で取り除いてくださるようお願いいたします。

環境美化と交通安全のため、皆様のご協力をお願いします。





丹後の秋の味覚

新米の季節が今年もやってきました。すでに新米を口にされた方もたくさんおられるのではないのでしょうか。今回の郷土料理はお米の味をシンプルに味わうことができる「おにぎり」です。定番は塩や梅干しですが、どんな具を入れてもおいしく、炊き込みご飯をおにぎりにしても手軽に食べられます。新米に限らず、丹後にはおいしい秋の味覚がたくさんあります。旬の間に十分に味わってください。



左から 青木 美恵 委員、
米田 春美 委員、川瀬 明美 委員